

令和5年
6月29日

大野もとひろ県政報告会を開催 県政報告会に2000名以上が参加!



残念ながら、入場できなかった方もいらっしゃいました。申し訳ありません。

ご参加、誠にありがとうございました!



■大野もとひろ プロフィール

昭和38年埼玉県川口市生まれ。慶應義塾大学卒。国際大学修士課程修了、中東調査会参与、中東諸国の大使館勤務などを経て、東京大学、青山学院大学大学院、日本大学などで教鞭を執る。イラク戦争時には衆議院で参考人として「イラクの大量破壊兵器は外国に脅威を及ぼさない」と発言し一石を投じる。企業経営のかたわら世界最大の社会奉仕団体ライオンズクラブで史上最年少のガバナー(埼玉県の代表)としてボランティア活動に従事。平成22年参議院議員埼玉県選挙区で初当選後は「動的防衛力構想」を構築した同23年防衛大綱起案に関与し、党ネクスト防衛大臣として日本の領土領海を守る「領海警備法案」を起草。同24年防衛大臣政務官兼内閣府大臣政務官。2期目在任中の令和元年8月、埼玉県知事選挙に挑戦し当選。1期目は、豚熱や台風19号、新型コロナウイルス感染症が相次ぐ中、随所で危機管理専門家としての本領を発揮。この間に知事選の公約106項目(全129項目)にも着手。令和5年8月に埼玉県知事選挙にて再び当選、現在2期目。学生時代はアメフト、柔道(初段)、水泳に没頭。落語や音楽が好きな3人の子どもの父親。祖父は元川口市長の大野元美氏。

大野もとひろ後援会事務所

〒332-0017 埼玉県川口市栄町2-1-11 ブランズ川口栄町パークフロント103

TEL 048-271-5252 FAX 048-271-5200

E-mail: saitama@onomotohiro.jp

大野もとひろオフィシャルサイト▶

大野もとひろ 検索

■編集・発行/大野もとひろ後援会



埼玉県知事 大野もとひろ 後援会 会報

FRONT LINE

フロンタイン

第 8 号

令和5年9月発行

平素から、大野もとひろの政治活動にご理解、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。令和5年8月31日より第62代埼玉県知事として2期目の就任をいたしました。

埼玉県は大いなる過渡期にあり、急激な少子高齢化、ポスト・コロナの持続的経済の構築、激甚化・頻発化する災害・危機管理対応など、様々な課題に直面しています。1期目に引き続き、2期目も災害やパンデミック対応などを想定せざるを得ず、人の命を守る政治に万全を期してまいります。そのためにも、限られた資源ではありますが、インフラ整備や埼玉版FEMAでの訓練を通じた多様な災害対応シナリオの作成を進めてまいります。

また、人口減少社会を迎える中で、急速に増える後期高齢者を支え、少子化対策を講じることが急務です。そのためには、高齢者や子供たちを支える労働人口が減少する中でも生産性を向上させる必要があります。DXの推進による生産性向上やサーキュラーエコミーなど新たな付加価値を生じる産業の育成や転換など、強力に進めてまいります。

引き続き大野もとひろへご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

大野県政2期目がスタート!!

埼玉県で国政政党の公認・推薦候補が出馬した
選挙史上最多の113万票を獲得しました。

投票率23.76%

令和5年度8月6日投票 埼玉県知事選挙得票数

当 1,138,973	大野 元裕(59)無現
183,692	柴岡 祐真(39)共新
97,252	大沢 敏雄(69)無新

県内72市区町村別 増加率 ↗					
杉戸町	123.9%	横瀬町	38.4%	志木市	21.5%
八潮市	70.1%	嵐山町	38.3%	市平均値	
松伏町	69.4%	越谷市	36.9%	さいたま市北区	20.1%
小川町	69.2%	和光市	31.1%	鴻巣市	19.9%
東秩父村	65.6%	行田市	29.7%	北本市	19.9%
草加市	63.3%	蓮田市	27.7%	東松山市	19.5%
上里町	56.5%	本庄市	27.2%	坂戸市	19.3%
美里町	52.8%	三芳町	27.2%	長瀨町	18.8%
吉川市	52.4%	日高市	27.0%	朝霞市	18.6%
神川町	52.1%	ふじみ野市	26.8%	所沢市	17.2%
小鹿野町	51.7%	鶴ヶ島市	26.5%	さいたま市桜区	16.4%
滑川町	51.1%	久喜市	26.4%	さいたま市南区	16.4%
川島町	51.1%	白岡市	26.4%	熊谷市	15.8%
加須市	49.2%	毛呂山町	26.2%	蕨市	15.2%
町村平均値		寄居町	26.0%	さいたま市西区	14.8%
羽生市	43.8%	伊奈町	25.6%	さいたま市中央区	14.7%
戸田市	42.8%	越生町	24.6%	新座市	14.6%
ときがわ町	42.4%	飯能市	23.3%	川越市	14.2%
宮代町	42.3%	さいたま市岩槻区	22.8%	上尾市	13.2%
皆野町	42.2%	秩父市	22.8%	さいたま市大宮区	12.9%
幸手市	41.9%	深谷市	22.6%	鳩山町	10.7%
春日部市	40.7%	狭山市	22.5%	さいたま市見沼区	10.3%
富士見市	40.0%	桶川市	22.3%	さいたま市緑区	7.9%
三郷市	39.0%	全体平均値		さいたま市浦和区	6.3%
吉見町	38.6%	入間市	22.2%	川口市	-2.7%

県内72市区町村別 得票率 ↘					
東秩父村	90.1%	宮代町	82.2%	さいたま市見沼区	79.8%
横瀬町	87.2%	熊谷市	81.8%	さいたま市大宮区	79.8%
川島町	86.9%	蓮田市	81.8%	深谷市	79.7%
小鹿野町	86.8%	吉川市	81.6%	さいたま市中央区	79.6%
美里町	86.2%	久喜市	81.5%	上里町	79.5%
吉見町	85.6%	越谷市	81.3%	川越市	79.4%
ときがわ町	85.2%	伊奈町	81.2%	さいたま市浦和区	79.3%
行田市	84.8%	川口市	81.2%	飯能市	79.1%
小川町	84.7%	鳩山町	81.0%	三芳町	79.1%
長瀨町	83.9%	戸田市	81.0%	寄居町	78.9%
秩父市	83.8%	さいたま市岩槻区	81.0%	さいたま市南区	78.9%
加須市	83.5%	東松山市	80.8%	さいたま市西区	78.8%
滑川町	83.4%	杉戸町	80.8%	和光市	78.7%
羽生市	83.4%	本庄市	80.7%	日高市	78.7%
白岡市	83.4%	松伏町	80.6%	三郷市	78.6%
神川町	83.2%	狭山市	80.4%	鶴ヶ島市	78.6%
北本市	83.1%	志木市	80.3%	八潮市	78.6%
桶川市	83.0%	上尾市	80.3%	富士見市	78.4%
鴻巣市	83.0%	入間市	80.2%	朝霞市	77.9%
幸手市	83.0%	春日部市	80.2%	さいたま市緑区	77.7%
皆野町	82.7%	全体平均値		さいたま市桜区	77.7%
毛呂山町	82.7%	草加市	80.1%	蕨市	77.1%
越生町	82.6%	さいたま市北区	80.1%	ふじみ野市	76.5%
町村平均値		市平均値		所沢市	76.3%
嵐山町	82.2%	坂戸市	79.9%	新座市	76.0%

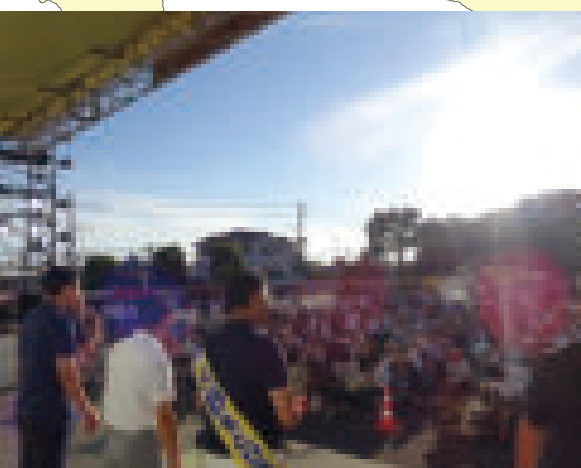
※「県内72市区町村別増加率」は市区町村別の前回得票数と比較しています。
■ 町村平均値より上回った自治体 ■ 「市区町村別増加率」と「市区町村別得票率」両方の平均値より上回った自治体
■ 市平均値より上回った自治体 ■ 「市区町村別増加率」と「市区町村別得票率」両方の平均値より下回った自治体

県内72市区町村

全てに声を届けた熱い夏!

7月

- 20日 浦和区→川口市→横瀬町→秩父市→小鹿野町→皆野町→長瀬町
- 21日 本庄市→上里町→神川町→美里町→寄居町(東秩父村)→深谷市→三芳町→ふじみ野市→所沢市
- 22日 浦和区→大宮区
- 23日 川口市→越谷市
- 24日 伊奈町→蓮田市→白岡市→宮代町→杉戸町→幸手市→久喜市
- 25日 終日公務
- 26日 所沢市→志木市→新座市→和光市→朝霞市
- 27日 越生町→毛呂山町→日高市→飯能市→入間市→狭山市
- 28日 岩槻区→松伏町→吉川市→春日部市
- 29日 蕨市→南区→桜区→戸田市
- 30日 三郷市→八潮市→草加市→越谷市→川口市
- 31日 加須市→羽生市→行田市→熊谷市



8月

- 1日 ときがわ町→小川町→嵐山町→滑川町→鳩山町→川島町→吉見町→東松山市→坂戸市→鶴ヶ島市
- 2日 鴻巣市→北本市→桶川市→上尾市
- 3日 川越市→ふじみ野市→富士見市
- 4日 浦和区→緑区→見沼区→中央区→大宮区→北区→西区
- 5日 川越市→大宮区→浦和区→川口市



2期目に向けて ~埼玉の未来に向けて責任を果たす~

2つの歴史的課題に立ち向かい 安心安全で持続的に発展する埼玉県へ (令和5年8月31日 埼玉県知事記者会見発表)

- 人口減少・超少子高齢社会の到来**
 - ◆国勢調査開始以降、全国で唯一人口が増加し続けた埼玉県が、**人口減少**へ
 - ◆75歳以上の高齢者人口が、**全国で最も速いスピードで増加**
- 激甚化・頻発化する災害、パンデミックなど**
 - ◆大雨・降ひょう・竜巻などの**激甚化・頻発化**
 - ◆今後30年以内に約70%の確率で発生する**首都直下地震** ◆**新たなパンデミック**の発生リスク

課題への対応 → **埼玉版スーパー・シティプロジェクト** **DX・行政改革** **埼玉版FEMA** ほか

1 少子高齢化/災害の頻発・激甚化に対応可能な未来を見据えたまちづくり

埼玉版スーパー・シティプロジェクトのさらなる拡大	埼玉版FEMAの推進で、災害にさらに強靱な県に
<p>1期目 29市町がプロジェクトに参加</p> <p>↓</p> <p>2期目 令和8年度に46市町村早期に全市町村の参加を目指す</p> <p>●現在:29市町が参加</p>	<p>1期目 風水害、地震災害、大雪災害のシナリオを作成</p> <p>↓</p> <p>2期目 ●風水害等のシナリオのブラッシュアップ ●火山噴火、国民保護など新たなシナリオの作成</p>

2 持続的な発展に向けた戦略的転換

サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの推進	スタートアップ企業と技術を支援し、ニーズと適切にマッチング
<p>1期目 サーキュラーエコノミー推進センター埼玉を開設 (R5.6)</p> <p>↓</p> <p>2期目 持続可能な発展に向けたサーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの推進による環境と経済の両立</p>	<p>1期目 ベンチャー企業等への個別支援</p> <p>↓</p> <p>2期目 起業家や異業種企業が交流し、マッチングが生まれる場である「(仮称) 渋沢栄一起業家サロン」を開設</p>

3 DXと行政改革を新たなフェーズへ

DXを前提とした県庁を実現	不断の行政改革を推進
<p>1期目 ペーパーレス化やリモートワークが進み、効率的で柔軟な働き方が可能に</p> <p>↓</p> <p>2期目 DXの第2段階である「県民サービスの向上」を実現するとともにDXを前提とし、北部拠点の整備から未来の県庁の絵を描く</p>	<p>1期目 部局横断のプロジェクトチームを試行的に複数立ち上げ</p> <p>↓</p> <p>2期目 時代の変革に対応する重点施策については、縦割りを超え、部局横断のプロジェクトチームで強力に推進</p>

4 あらゆる人が生き生きと活躍できる居場所と社会を

少子化対策・子育て支援の充実	女性活躍と男女共同参画の推進
<p>1期目 ●子ども食堂など、子供の居場所設置促進 520か所(令和3年度) ●「コバトンベビーギフト」を通じた孤立した子育て・ワンオペ育児の防止による子育て支援の充実</p> <p>↓</p> <p>2期目 ●子供の居場所800か所以上の設置及び地域ネットワークの拡充 ●子供への医療費助成を拡充し、市町村による子育て支援の充実を後押し</p>	<p>1期目 県庁の女性管理職の登用は過去最高の13.8%を達成</p> <p>↓</p> <p>2期目 ジェンダー主流化による事業点検を全庁展開し、ジェンダー平等を目指す</p>